

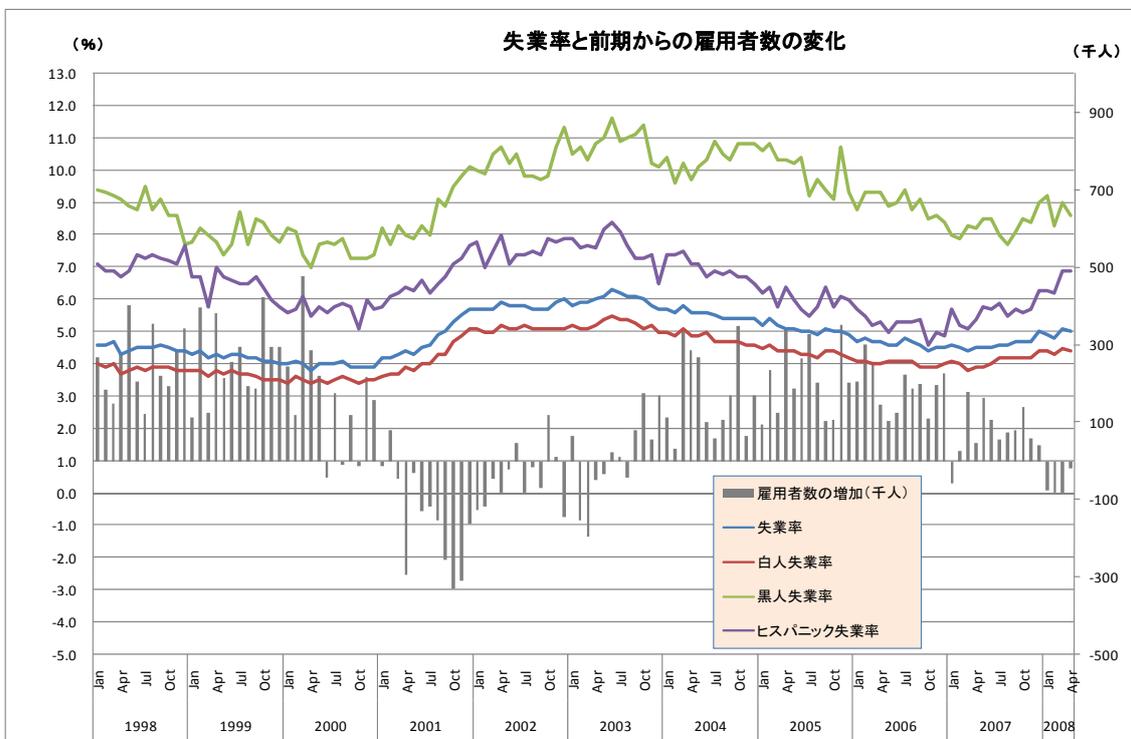
米国経済点描 (2008. 5. 07)

～2008年4月の失業率～

5月2日に米国労働省労働統計局(BLS)が公表した世帯調査に基づく2008年4月の失業率(季節調整済み)は、前月より0.1ポイント低下し、5.0%となった。また、同調査に基づく4月の就業者数の暫定値は、1億4633万1千人で、前月より36万2千人減少した。

一方、事業所調査に基づく非農業部門の雇用者数(industry payroll employment)も、第1四半期の24万人減にひき続いて4月には季節調整済みの暫定値で2万人減少(対前月比0.03%減)した。専門技術サービス、ヘルスケアサービスでは雇用増となっているが、建設、製造業の財部門の雇用減が依然として失業率を押し上げている。

昨年4月と比較すると、失業率は4.5%から0.5ポイントの上昇にとどまっているが、人員削減からフルタイムの仕事が見つからないなどの理由で、パートタイマーに従事する人が4月だけで36万2千人増加しており、雇用情勢は失業率の動きで見ると以上に厳しいと言えよう。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4F
 TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp